

## 水痘(みずぼうそう)と水痘(みずぼうそう)ワクチン

水痘は“みずぼうそう”とも呼ばれ、水痘—帯状疱疹ウィルスの初感染によってひき起こされる病気です。感染力の強い病気で5歳までに約80%の子どもがかかるといわれています。症状は痒みを伴う水をもった赤い発疹が全身に出ます。頭皮にも出るのが特徴です。発熱は必ずしも伴いません。発疹出現のピークは2～3日間でその後は次第に乾いて黒っぽいかさぶたになります。平均して1週間くらいで治ります(すべての発疹がかさぶたになるまでは他の人にうつします)。稀に肺炎、小脳炎など重症になることがあります。

水痘にかかったときには、水痘に効果のある薬がありますので、必要に応じて服用します。

水痘流行の対策はワクチン(生ワクチン)による予防が中心になります。予防接種をした場合、水痘にかからない率は約70%と予防効果はやや低めです。残り30%の人が予防接種をしていても水痘にかかりますが、軽症となることが多いといわれています。また、水痘患者と接触し、72時間以内に予防接種をすれば軽症化する可能性があります。

水痘のワクチンの対象は1歳以上で、集団生活に入る前に接種されることをお勧めします。また、任意接種のため自費になります。水痘に実際に罹患された方は免疫がありますのでワクチンを接種する必要はありません。水痘ワクチンの安全性は高いのですが、ワクチンの性質上副作用は0%にはなりません。水痘ワクチンの副作用としては接種1～3週間後に稀に発熱や発疹が出現する場合と頻度は少ないのですが接種直後から翌日に、発疹やじんましん、発熱などの過敏症状が現れることがありますので、接種後15分は院内に留まられて問題ないのを確かめられて帰宅されるようにして下さい。以上のワクチンの説明文を熟読され、内容をご了承された上で接種されることをお願いいたします